

(款) 9 . 土木費 (項) 1 . 土木管理費 (目) 1 . 土木総務費

(単位 千円)

予算現額 194,333 千円
 決算額 191,531 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			8,139	183,392

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 新エネルギー推進 事業	6,463	石油依存度の高い日本のエネルギー事情や地球温暖化等環境問題に対応するために、新エネルギーの導入促進が強く期待されているが、その中で風力発電エネルギーを活用し、大きくは地球温暖化の防止及び化石燃料への依存度を減少させることが出来る風車を利用する場合の風況調査及び環境影響評価調査を実施した。 (平成17年度から繰越) 実施箇所：伊勢市東豊浜町 調査内容：風況観測、騒音調査、電波障害調査 動植物調査	頁 233

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 1 . 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 260,032 千円
 決算額 251,748 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22,022		27	229,699

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 道路台帳整備経費	27,498	前年度の道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。 また、三重県にて作成中のハイブリッド地図と伊勢市の道路台帳図の整合性を図るため、平成18年度中は、道路台帳図の道路のみのデジタル化を行った。 (概要) ・道路台帳デジタル化 一式 ・道路台帳修正 新規認定 12.44 km 廃止 3.61 km 改良 12.51 km マンホール 350箇所	頁 233

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 2 . 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 137,315 千円
 決算額 133,369 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	43			133,326

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 道路舗装事業	8,676	道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行うことにより、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。 (概要) 舗装工事 3件 L = 654.1m A = 3,355.6㎡	頁 235

二見総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 道路舗装事業	2,551	道路路面の舗装が、荒廃し通行に支障がある箇所の舗装整備を行うことにより、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。 (概要) 舗装工事 3件 L = 255.9m A = 588.7㎡	頁 235

小俣総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 道路舗装事業	1,082	道路路面の舗装が、荒廃し通行に支障がある箇所の舗装整備を行うことにより、道路の安全確保と生活環境の改善を図った。 (概要) 舗装工事 1件 補助工事 1件	頁 235

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 3 . 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 607,391 千円
 決算額 543,171 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		279,100	100,516	163,555

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 県営事業地元負担金	5,726	三重県が施行した道路改良事業に対し、負担を行った。 (鳥羽松阪線、館町通線、一般国道42号、横輪南勢線、伊勢南島線、伊勢松阪線、東大淀小俣線)	頁 235

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路改良事業	190,138	<p>市民生活に密接した道路の拡幅を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備等を進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>現年分 一般改良工事 5路線 L=1076.5m 工事施工委託、測量、設計、建物調査 用地買収、支障物件補償、隣接地補償 (平成19年度へ一部繰越) 平成17年度からの繰越 工事施工委託、測量、設計 用地買収、工作物補償 平成17・18年度継続費 一般改良工事 1路線 L=280.3m 支障物件補償 (平成17年度から一部繰越)</p>	235

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	247,410	<p>市民生活に密接した道路の側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>測量設計等 11件 一般改良 25件 L=5,477.4m</p>	235

二見総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	36,324	<p>市民生活に密接した道路の側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>一般改良 5件 L=931.1m</p>	235

小俣総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	7,993	<p>市民生活に密接した道路の側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>一般改良 6件 L=317.4m 用地買収 2筆</p>	235

御園総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路側溝等改良事業	55,580	<p>市民生活に密接した道路の側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>測量設計等 2件 L=500.0m 一般改良 7件 L=958.6m</p>	235

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 4 . 橋梁維持費

(単位 千円)

予算現額 38,129 千円
 決算額 24,193 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		18,400		5,793

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 橋梁耐震対策事業	13,100	震災時におけるライフラインとなる重要な既設橋梁について、耐震対策工事を行った。 (概要) 堀割橋 1橋	頁 237

二見総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 橋梁耐震対策事業	7,420	震災時におけるライフラインとなる重要な既設橋梁について、耐震対策工事を行った。 (概要) 日の出橋 1橋 (平成19年度へ一部繰越)	頁 237

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 5 . 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 40,307 千円
 決算額 39,965 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				39,965

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 交通安全施設整備 事業	15,599	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 道路反射鏡 78 基 道路照明設備 7 基 区画線 3,449.1 m 路側帯明示舗装 219.0 m 防護柵 29.0 m 標識看板 1 基	237

二見総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 交通安全施設整備 事業	1,493	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 道路反射鏡 9 基 区画線 422.0 m 防護柵 27.2 m	237

小俣総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 交通安全施設整備 事業	1,628	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 道路反射鏡 4 基 街路灯 6 基	237

御園総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 交通安全施設整備 事業	672	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 道路反射鏡 4 基 視線誘導標 2 基 ポールコーン 8 本 車止め 2 本	237

(款) 9 . 土木費 (項) 2 . 道路橋梁費 (目) 6 . 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 702,268 千円
 決算額 547,990 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
243,488		122,700	61,792	120,010

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 大湊川線整備事業	183,500	<p>大湊町民の災害時の避難路は、現在、県道大湊宮町停車場線にかかる湊橋だけとなっており、住宅団地等の開発が進む中で新しい道路の建設が急務となっている。</p> <p>また、医療・福祉施設などの高齢者の増加に対応した施設、日常生活の利便性を賄う商業施設が不足しており、地区外への依存が日常から求められている。</p> <p>そのため、大湊地区の防災機能の向上及び住民の生活機能の拡充を図り、バイパス整備を進めた。第1工区については、平成14年度に完了し、引き続き第2工区を平成15年度から平成20年度完了を目指し、進めているものである。</p> <p>(概要)</p> <p>地方道路整備臨時交付金事業 現年分 下部工施工委託、橋脚工事 (平成19年度へ一部繰越) 平成17年度からの繰越 下部工施工委託 地方特定道路整備事業 現年分 築堤工事施工委託、支障物件補償 平成17年度からの繰越 道路改良工事 L = 34.1m (全体事業)(交付金・起債事業費) 地方道路整備臨時交付金事業 [第一工区] 事業費 248,000千円 事業概要 道路改良 L = 220m 事業期間 平成11年度～平成14年度 [第二工区] 事業費 709,000千円 事業概要 道路改良 L = 170m 事業期間 平成15年度～平成20年度 地方特定道路整備事業 事業費 150,000千円 事業概要 道路改良 L = 570m 事業期間 平成11年度～平成20年度</p>	頁 239

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 小俣20号線整備 事業(交付金)	64,863	<p>本路線は小俣市街地と明野小学校、総合体育館、大仏山公園等がある明野地区を結ぶ重要な路線であり、また通学路にもなっているが、歩道・車道共に幅員が狭く危険な状態となっている。そのため、拡幅整備を行うことにより、安全な通学路として、また車両の安全な通行機能の向上を図るものである。</p> <p>(概要)</p> <p>地方道路整備臨時交付金事業 現年分 橋梁工事 L = 131.8 m 道路改良工事 L = 353.1 m 用地買収 (平成19年度へ一部繰越) 平成17年度からの繰越 用地買収、工作物補償 (全体事業)(交付金事業費) 事業費 400,000千円 事業概要 道路改良 L = 1,165 m 事業期間 平成16年度～平成21年度</p>	239
3. 小俣1号線整備事 業(防衛)	47,334	<p>本道路は小俣地区の市街地中心部に位置し生活道路と幹線道路の両方の機能を併せ持つ道路であるが、近年の交通量の増加に伴い道路機能が低下している。</p> <p>また、本路線上空を陸上自衛隊明野駐屯地の航空機が低空で進入離脱を繰り返しており、航空事故等緊急時の救助活動、避難活動に支障をきたす恐れがある。そのため、平成17年度から平成18年度の国債事業で、防衛施設庁補助事業として整備を行っているものである。</p> <p>(概要)</p> <p>防衛施設周辺民生安定施設整備事業(補助) 道路改良工事 L = 457.5 m 道路舗装工事 L = 457.5 m 建物解体工事 2棟 (全体事業)(補助事業費) 事業費 71,129千円 事業概要 道路改良 L = 457.5 m 事業期間 平成17年度～平成18年度(継続費)</p>	239
4. 本町周辺道路整備 事業(交付金)	135,816	<p>本道路とJR参宮線とが交差する掛橋踏切は、小俣町本町地区と小俣小学校、小俣中学校を結ぶ通学路となっているが幅員が狭く近年の交通量の増加に伴い、朝夕の通勤・通学・帰宅の混雑時には、児童が車両の間をすり抜けるなど大変危険な状態となっている。</p> <p>そのため、歩道の確保、車両の対面通行が可能となり、歩行者、車両の安全が図れるよう、踏切の拡幅及び取付部の整備を行っている。</p> <p>(概要)</p> <p>地方道路整備臨時交付金事業 踏切拡幅工事施工委託 道路改良工事 L = 94.2 m 用地買収、支障物件補償 (平成19年度へ一部繰越) (全体事業)(交付金事業費) 事業費 121,502千円 事業概要 道路改良 L = 94.2 m 事業期間 平成17年度～平成18年度</p>	239

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 柏東大淀線整備事業（防衛）	11,597	<p>本路線は東大淀町から国道23号へ通じる生活道路であり、また、隣接する柏町から災害時非難場所である東大淀小学校へ通じる最短ルートでもあるが、道路幅員が狭く道路機能が著しく低い状態である。また、本路線上空を陸上自衛隊明野駐屯地の航空機が低空で進入離脱を繰り返しており、航空事故等緊急時の救助活動、避難活動に支障をきたす恐れがある。そのため、平成18年度から防衛施設庁補助事業として整備を行っているものである。</p> <p>（概要） 防衛施設周辺民生安定施設整備事業（補助） 測量、設計 （全体事業）（補助業費） 事業費 304,000千円 事業概要 道路改良 L=710m 事業期間 平成18年度～平成22年度</p>	239
6. 元町46号線整備事業（交付金）	34,372	<p>本路線に隣接する小俣2号線は小俣町元町地区と小俣小学校、小俣中学校、小俣総合支所等が存在する小俣地区市街地中心部を結ぶ重要な路線であり交通量が常時多いが、幅員が狭く、朝夕の通勤、通学、帰宅の混雑時には非常に危険な状態となっている。しかし、家屋が両側にあり、拡幅が困難であるため、新たな路線である本路線を整備するものである。</p> <p>（概要） 地方道路整備臨時交付金事業 道路改良工事 L=200m 道路舗装工事 L=200m （全体事業）（交付金事業費） 事業費 27,130千円 事業概要 道路改良 L=200m 事業期間 平成17年度～平成18年度 （交付金事業については平成18年度のみ）</p>	239
7. 相合26号線整備事業（地方特定道路）	43,458	<p>本路線は近畿自動車道玉城インターにアクセスする県道鳥羽松阪線と玉川小俣線、国道23号線を連絡するとともに、防災道路として不可欠な路線である。</p> <p>（概要） 地方特定道路整備事業 道路改良工事 L=195.3m 道路舗装工事 L=222.9m （全体事業）（起債事業費） 事業費 43,458千円 事業概要 道路改良 L=195.3m 事業期間 平成18年度</p>	239

(款) 9 . 土木費 (項) 3 . 河川費 (目) 2 . 勢田川対策費

(単位 千円)

予算現額 14,020 千円
 決算額 13,783 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,633				4,150

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 勢田川清掃事業	679	「勢田川を天の川に」のキャッチフレーズで、地元沿岸23自治会と協力し、市民・学校・企業・行政等に呼びかけ勢田川、朝川及び桧尻川のボランティア清掃を実施した。 平成18年度実績 実施日 : 平成18年7月2日(日) 参加者 : 約2,800名 主な拾集物: 空き缶 1,448個 空きビン 398個 自転車 5台等 その他 : 平成8年度から実施	頁 241

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 勢田川浄化経費	13,104	平成5年10月から、宮川7.4km地点(辻久留2丁目宮川堤ゲートボール場地先)で取水し、勢田川5.1km地点(小田橋下流)に、1.0 ^ℓ /秒以下の導水を行っている。(平成18年度の稼働日数250日)	頁 241

(款) 9 . 土木費 (項) 3 . 河川費 (目) 3 . 河川維持費

(単位 千円)

予算現額 15,669 千円
 決算額 14,048 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		3,600		10,448

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 河川維持改良事業	3,812	河川護岸及び堤防の機能を維持する為、老朽箇所、洗掘箇所等の改良工事を施行し、近隣住民の安全確保を図った。 (概要) 箕曲瀬川 L = 40.0m	頁 241

(款) 9 . 土木費 (項) 3 . 河川費 (目) 4 . 河川改修事業費

(単位 千円)

予算現額 523,713 千円
決算額 368,006 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
133,325		31,300	184,291	19,090

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 準用河川松尻川改修事業	311,873	河積不足で流下能力が極めて低く、周辺では毎年のように浸水被害を受けており、治水対策が急がれている状況であるため、河川改修を進めた。 (概要) 総合流域防災事業(補助) 橋梁詳細設計、改修工事、用地買収、建物補償ほか(全体事業)(補助事業費) 事業費 2,364,000千円 事業概要 松尻川 改修延長 L = 380.0m 幅員 W = 10.45m 流量 Q = 37m ³ /秒 松尻川支川 改修延長 L = 243.5m 幅員 W = 7.85m 流量 Q = 19m ³ /秒 事業期間 平成10年度～平成30年度	241
2 . 準用河川大堀川支川改修事業(防衛)	56,133	土地形状の変化や排水流出量の増加に伴う河川の断面不足により、豪雨時の浸水被害が近年多発している。浸水被害の防止が急務となっているため、河川改修を進めた。 (概要) 防衛施設周辺障害防止事業(補助) 補償積算、用地買収(全体事業)(補助事業費) 事業費 740,000千円 事業概要 改修延長 L = 760.0m 幅員 W = 14.5m 流量 Q = 52m ³ /秒 事業期間 平成16年度～平成23年度	241

(款) 9 . 土木費 (項) 3 . 河川費 (目) 5 . 排水路維持費

(単位 千円)

予算現額 126,479 千円
決算額 111,331 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
456	1,136		23,256	86,483

御園総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 排水路維持改良事業	23,255	老朽化が著しく、排水機能の低下している箇所等の改良を行い、生活環境の改善を図った。 (概要) 日赤前幹線排水路 L = 100.0m 測量設計、用地買収、一般改良工事	243

(款) 9 . 土木費 (項) 3 . 河川費 (目) 6 . 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 35,637 千円
 決算額 17,797 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		16,900		897

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 河川改良事業	17,797	護岸の侵食が著しい河川の改良を行い、機能の改善を進めた。 (概要) 一般改良工事 2河川 L = 258.8m 用地買収 (平成19年度へ一部繰越)	頁 245

(款) 9 . 土木費 (項) 3 . 河川費 (目) 7 . 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 213,587 千円
 決算額 148,747 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		124,800	16,412	7,535

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 排水施設整備事業	148,747	豪雨時の急激な増水による浸水を防止するとともに、生活環境の向上を図るため、排水路の整備、排水機場の設置に係る基礎工事を進めた。また、汚泥堆積の改善及び悪臭等の低減を図るため、有用微生物群を利用し、排水路の浄化を進めた。 (概要) 排水路改良整備 4排水路 L = 553.40m (平成19年度へ一部繰越) 排水機場基礎整備 1機場 排水路浄化 3排水路	頁 245

(款) 9 . 土木費 (項) 4 . 港湾海岸費 (目) 1 . 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 10,260 千円
 決算額 10,071 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,249	4,401			4,421

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 県営事業地元負担金	2,880	三重県が施行した海岸環境整備事業、港湾改修事業に対し、負担を行った。 海岸維持：宇治山田港（大湊・二見）、北浜地区海岸、松下地区、神前地区 港湾改修：宇治山田港（神社地区）	頁 245

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 1 . 都市計画総務費

(単位 千円)

予算現額 1,695,657 千円
 決算額 1,682,644 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	685			1,681,959

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 土地利用推進方策 調査検討経費	1,260	地域特性に応じた特色あるまちづくりを推進するために、伊勢市の土地利用上の問題点と課題の整理を行うとともに、都市マスタープラン策定に向けた土地利用推進方策の検討を行った。 土地利用推進方策調査検討業務 一式	247

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 2 . まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 965,531 千円
 決算額 415,853 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
230,713	2,776	95,100	28,987	58,277

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . TMO構想推進協働事業	3,204	中心市街地を活性化させるためには、賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場としての再生が求められる、地域住民や商店街等の相互の理解と協力が重要であることから、平成17年1月から市としてまちづくりに取り組むプランチとしての活動拠点及び「いせTMO」の活動拠点を中心市街地に移設し、地域住民、商業者、行政、商工会議所等との連携を強化させ、協働のまちづくりをめざすため、厚生地区まちづくり協議会の支援など中心市街地の活性化に取り組んでいる。 また、中心市街地PR事業として、中心市街地で開催される各種イベント等を集合チラシ(新聞折込)にて情報発信した。 事業着手年度 平成16年度	247
2 . TMO構想推進事業補助金	5,950	商店街の集客力及び機能回復を促進し、中心市街地の活性化の一助とするため、いせTMO(事務局:商工会議所)に補助金を交付した。 (1)空店舗等対策事業 活用モデル事業 1件 テナント確保支援事業 新規 4件、継続 3件 チャレンジショップ事業 新規 2件、継続 1件 空地活用モデル事業 1件 (2)各種調査事業 空店舗調査、商店街通行量等調査 (3)商業まちづくり補助金事業 4団体	249

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢湾海上アクセス推進事業	9,471	交通システムの見直し整備の一環として、伊勢湾海上アクセスの充実を図ることにより、三重県南部地域と中部国際空港を結ぶ海の玄関口としての機能を果たすと共に、伊勢志摩地域を訪れる来訪者の利便性及び周遊性を高め、経済効果と地域活性化を図るための調査・測量等を行った。	249
2. 伊勢地域観光交通対策推進事業	7,000	平成17年8月に発足した「伊勢地域観光交通対策協議会」で、伊勢地域周辺における交通渋滞を解消するための検討会を開催し、観光交通対策を行った。 (1)パーク&バスライド サンアリーナ臨時駐車場～外宮・内宮間にシャトルバスを運行させ、正月時期における外宮・内宮周辺の交通渋滞の解消・緩和を図った。 (2)初参り交通対策 外宮・内宮・二見周辺の初参り交通対策として、来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。 (3)ゴールデンウィーク交通対策 ゴールデンウィーク期間中の内宮周辺交通対策として、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の運営を行った。 (4)その他 土日祝祭日の内宮周辺交通渋滞対策として、宇治浦田交差点に警備員を配置し、車両誘導を行った。	249

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小俣町本町地区周辺整備事業	254,013	市街地の活性化と鉄道の利用促進を図るため、平成18年度より「まちづくり交付金」を活用し、宮川駅周辺の道路環境の整備と駅への円滑なアプローチの確保を進めた。 また、市街地につながる主要橋梁の点検など交通環境の改善により、安全で防災機能の高い市街地の形成を図った。 (概要) 下卯起宮川駅野依橋線 市道小俣12号線 橋梁点検 (全体事業) 道路 2路線 橋梁点検 7箇所ほか 施行年度 平成18年度～平成22年度 総事業費 1,045,000千円	247
2. 観光交流空間づくり推進事業	1,700	観光振興を核として交流人口を拡大する地域づくりを推進するため、伊勢二見地域観光交流推進協議会が中心となり、地域の特性を活かした自律的な観光交流空間づくりを進めた。また、NPOや自治会などが主体となって取り組む「観光交流空間づくり」に向けた事業プランを公募・業務委託し、市民主体のまちづくりを進めた。 事業着手年度 平成17年度 (概要) 観光交流空間づくりプラン推進業務 伊勢二見地域観光交流推進協議会負担金	247

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 風景まちづくり推進事業	1,200	平成17年6月に全面施行した景観法に基づき、景観計画の策定及び風景まちづくり地区等の基準づくり等を行うための共同研究(三重大学)を行った。 また、風景まちづくり条例(仮称)の制定に向けた検討を行った。 (概要) 共同研究(三重大学)	247
4. 伊勢市駅周辺整備事業	25,179	伊勢市駅前拠点施設整備構想の作成と、「まちづくり交付金」を活用し、まちづくり活動推進事業として地域のまちづくり活動の支援や花と緑のまちづくり事業の推進を行った。 (概要) 伊勢市駅前拠点整備調査 まちづくり活動支援 花と緑のまちづくり	247
5. 街なみ環境整備事業	3,144	二見浦旅館街の住環境整備及びまちなみ保全を図るため、「街なみ環境整備事業」を活用し、道路美装化、公園整備工事を進めるとともに、道路美装化等の委託業務を行った。 また、街なみ環境整備事業の一環として、二見町景観形成地区内で家屋の新築、増改築を行う建築物並びに工作物に対し、補助基準を満たす申請物件に対し工事費の2/3(上限1,000千円)の補助を行っているが平成18年度は該当物件がなかった。	249
6. 都市計画道路整備事業	2,000	国土交通省の補助事業である「まちづくり交付金事業(経過措置分)」により、宮川駅を中心とする本町地区中心部から、国道23号、県道烏羽松阪線へのアクセス強化を図り広域的で円滑な道路ネットワークを形成する下卯起宮川駅野依橋線の用地買収を行った。 事業着手年度 平成17年度	249

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢市駅周辺整備事業	76,040	「全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図る」ことを目的に平成16年度に創設された『まちづくり交付金』制度を活用し、『伊勢市中心市街地商業等活性化基本計画』に基づき、伊勢市駅周辺地域の道路、公園の整備を段階的に行い中心市街地の活性化、再生を図る。 (概要) 測量業務、設計業務等 公園整備工事、道路改良工事 (全体事業) 道路7路線 公園9公園 施行年度 平成18年度～平成22年度 総事業費 790,000千円	247

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 3 . 都市施設管理費

(単位 千円)

予算現額 101,101 千円
 決算額 95,792 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	230		644	94,918

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 花のまちづくり推進事業	2,509	平成2年当時まつり博等市の一大イベントを控え、公共用地にパンジーなどを植え、観光客・市民にとって美しい花のまちづくりを推進した。イベント終了後も一過性の事業とはせず毎年推進している。平成18年度においては、花壇への植付けを行い、また既存花壇の整備を進めることにより市民による花の植付けを促すなど、花のまちづくりへの参加をさらに推進した。 (概要) 花壇への植付け 滝倉川線・山田上口駅前 楓橋・桜橋・倭町・宮川郷各花壇	頁 249
2 . 遊具等設置事業	1,336	公園遊具等の設置及び更新を必要に応じて行っている。平成18年度においては、3公園にて、フェンス・照明灯を設置、1公園にてベンチ取替をし、公園機能の充実及び安全性の向上を図った。	249

小俣総合支所 産業建設課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 花のまちづくり推進事業	529	花と緑をより身近なものにするため、菊花展や寄せ植え園芸教室、パンジーの植栽を行った。パンジーは植栽後、公共施設等18箇所へ配布した。	頁 249

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 4 . 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 348,590 千円
 決算額 343,174 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
110,000		214,600		18,574

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 県営事業地元負担金	86,000	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。(秋葉山高向線、新国道)	頁 251

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 八日市場高向線外 1線整備事業(交付金)	100,991	<p>本路線は県道坂社豊浜線と結ぶことにより、市内の内環状線の一部を形成し、渋滞解消や中心市街地活性化等を目的として整備を進めているものであるが、今年度においては、道路整備のための建物調査業務委託、用地買収を行った。</p> <p>(概要) 地方道路整備臨時交付金事業 建物調査業務委託、用地買収、工作物補償 (全体事業)(交付金) 事業費 2,400,000千円 事業概要 道路改良 L=481m 幅員 W=16m 事業期間 平成17年度~平成23年度</p>	251
2. 日赤神田線整備事業	154,385	<p>本路線は市内を東西に結ぶ幹線道路で、都市の内環状線の一部を形成し、渋滞解消や中心市街地活性化等を目的として整備を進めている。</p> <p>平成13年3月に供用開始した第一工区(藤社御園線と本町神社港線間)に引き続き、平成13年度に事業認可を受け、第二工区(藤社御園線と御園2号線間)の整備を進めた。</p> <p>(概要) 地方道路整備臨時交付金事業 道路改良工事、用地買収 (全体事業)(交付金・起債事業費) 事業費 1,530,000千円 事業概要 道路改良 L=509m 幅員 W=16m 事業期間 平成13年度~平成22年度</p>	251
3. 街路施設改良事業	1,798	<p>内宮周辺の交通渋滞を解消し、長時間駐車・大型車両駐車・放置車両等の対策を行うため、有料化駐車場とする再整備を進めた。また、伊勢市駅前便所の改修を行い、快適な空間の提供を図った。</p> <p>調査設計、トイレ改修</p>	251

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 5 . 公園費

(単位 千円)

予算現額 60,396 千円
 決算額 51,819 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
26,149		19,800	804	5,066

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1 . 野村公園整備事業 (防衛)	40,106	野村町地区の非常時における緊急避難場所の確保を図るとともに、地域住民の快適なレクリエーション・コミュニティー活動の場所を提供するために、公園の整備を進めた。 (概要) 防衛施設周辺民生安定施設整備事業(補助) 公園整備工事 A = 2,126.13m ² 便所棟新築工事 (全体事業)(補助事業費) 事業費 106,133千円 事業概要 公園整備 A = 2,126.13m ² 事業期間 平成16年度~平成18年度 (平成17年度~18年度は継続費)	頁 251
2 . 公園改良事業	9,143	津波等災害発生時における緊急避難場所の確保を図るとともに、すべての利用者にやさしい快適な遊び・憩いの場を提供するために既存公園の改良整備を進めた。 (概要) 施設移設工事 1公園(一色公園) 便所整備工事 2公園(新高アメニティ、高向公園)	251
3 . バリアフリー公園 整備事業	2,570	誰もが自由に憩える公園を目指し、既存の公園のバリアフリー化整備を進めた。 (概要) 園路整備工事ほか 1公園(築地公園) (全体事業)(起債事業費) 事業費 483,119千円 事業概要 都市計画公園バリアフリー化 51箇所 事業期間 平成10年度~平成19年度	251

(款) 9 . 土木費 (項) 5 . 都市計画費 (目) 7 . 都市下水路費

(単位 千円)

予算現額 101,000 千円
 決算額 43,252 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
17,300		25,950		2

上下水道総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 倉田山都市下水路 整備事業	43,252	<p>本地域は、古市町のテニスコート付近から黒瀬町勢田川までの流域で、既設排水路及び排水機場の能力不足から、豪雨の度に浸水被害に見舞われている。このため、平成5年度より都市下水路事業として、工事に着手し、平成11年度に黒瀬ポンプ場の一部供用を開始し、平成12年度にはポンプ設備の増設をすると共に、1号幹線及び2号幹線下水路の築造工事を行ってきた。平成15年度は、整備区域を拡大するため、事業の変更認可を行い、平成16年度から平成18年度の3カ年で1号幹線下水路の築造工事を行った。</p> <p>(事業概要) 倉田山都市下水路1号幹線下水路築造工事 幹線下水路築造 L = 179m (平成19年度へ一部繰越)</p>	255

(款) 9 . 土木費 (項) 6 . 住宅費 (目) 1 . 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 277,786 千円
 決算額 274,025 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
58,575	210	9,500	118,231	87,509

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1 . 高齢者向け優良賃貸住宅家賃対策事業	9,283	<p>民間の土地所有者等による賃貸住宅の経営を誘導することにより、公営住宅を補完し高齢者の安全で安定した居住を確保するため、平成14年3月29日付で三重県知事より認定を受けた高齢者向け優良賃貸住宅供給計画に基づき、民間事業者により建設された高齢者向け優良住宅に対し、昨年度に引き続き住宅の家賃減額補助を行った。</p> <p>(施設概要) 名称 仲林マンション正邦苑竹ヶ鼻 所在地 伊勢市竹ヶ鼻町字沖田198番地 概要 鉄筋コンクリート造 5階建 24戸 1DK 43.22㎡ 20戸 2DK 54.42㎡ 4戸 エレベーター、緊急通報装置の設置、内装のバリアフリー化</p>	255
2 . 住宅等改修事業	16,933	<p>市営住宅の機能保持と入居者の安全性確保のため、老朽化により劣化した屋上防水層の改修工事を実施した。</p> <p>(概要) 対象施設 市営住宅粟野団地 7棟32戸 工事概要 屋上ウレタン防水 1,569㎡</p>	255

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁															
3. 住宅等整備事業	98,668	<p>平成17年度に策定した「地域住宅計画」の基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事を実施した。</p> <p>(概要)</p> <table> <tr> <td>住宅用火災警報器取付工事</td> <td>44団地</td> <td>990戸</td> </tr> <tr> <td>高齢者仕様改善工事</td> <td>1団地</td> <td>16戸</td> </tr> <tr> <td>公共下水道接続工事</td> <td>3団地</td> <td>66戸</td> </tr> <tr> <td>老朽化市営住宅入居者移転促進事業(移転補償)</td> <td>5団地</td> <td>16戸</td> </tr> <tr> <td>市営住宅用地景観保全工事(解体)</td> <td>4団地</td> <td>32戸</td> </tr> </table>	住宅用火災警報器取付工事	44団地	990戸	高齢者仕様改善工事	1団地	16戸	公共下水道接続工事	3団地	66戸	老朽化市営住宅入居者移転促進事業(移転補償)	5団地	16戸	市営住宅用地景観保全工事(解体)	4団地	32戸	255
住宅用火災警報器取付工事	44団地	990戸																
高齢者仕様改善工事	1団地	16戸																
公共下水道接続工事	3団地	66戸																
老朽化市営住宅入居者移転促進事業(移転補償)	5団地	16戸																
市営住宅用地景観保全工事(解体)	4団地	32戸																

(款)9.土木費 (項)6.住宅費 (目)2.公営住宅建設費

(単位 千円)

予算現額 62,976 千円
 決算額 62,975 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,384		27,300		8,291

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二俣団地建替事業	62,975	<p>二俣団地(昭和28年度建設木造平家建13戸)は木造の耐用年数30年に対し、はるかに超える築後50年が経過し、老朽化が著しく維持管理面等において憂慮される状況にあり、また、急速に進む高齢化社会に対応するため、早急な建替が必要であった。</p> <p>これにより、平成14年度の開発測量設計、地質調査、実施設計に基づき、平成15年度から平成16年度の継続事業で第1期建替工事の竣工を経て、平成17年度から平成18年度の継続事業により第2期建替工事を進めた。</p> <p>平成18年5月31日に完成、6月に入居者募集、8月1日より入居を開始した。</p> <p>(施設概要)</p> <p>名称 二俣団地 所在地 伊勢市二俣3丁目</p> <p>概要(第1期) 平成15年度~平成16年度建設 鉄筋コンクリート造4階建 1棟 公営住宅20戸(3DK 8戸・2DK12戸)</p> <p>(第2期) 平成17年度~平成18年度建設 鉄筋コンクリート造3階建 1棟 公営住宅18戸(3DK 6戸・2DK12戸)</p> <p>(合計) 公営住宅38戸(3DK14戸・2DK24戸)</p>	257